

千曲市議会だより

# みんなの議会



No.72

9月議会

令和元年 11月1日発行



新議場にて（開会前）

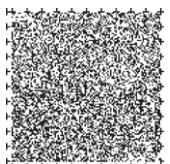
## 9月定例会 *CONTENTS*

- 議案審議結果一覧 ..... P 2
- 委員会報告 ..... P 5
- 一般質問（個人） ..... P 7

大型台風19号の猛烈な風雨災害により

被災された皆様に

心よりお見舞いを申し上げます。



議案番号	件名	結果
議会第6号	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書（案）	◎
議会第7号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書（案）	◎

意見書の詳しい内容については、市議会のホームページをご覧ください。

## 請願審議結果一覧表

番号	件名	請願者氏名	結果
請願第5号	千曲市の公共建物建設に市内産木材の活用を求める請願	杉本 一三	採択
請願第6号	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める請願	長野県教職員組合更埴支部 千曲市単位組合 代表者 阿部 哲	採択
請願第7号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願	長野県教職員組合更埴支部 千曲市単位組合 代表者 阿部 哲	採択

## 陳情・要望審査結果一覧表

番号	件名	陳情・要望者氏名	結果
陳情第6号	日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情	一般社団法人日本沖縄政策研究フォーラム 理事長 仲村 覚	議席配布
陳情第7号	米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情	宜野湾市民の安全な生活を守る会 会長 平安座 唯雄	議席配布

議案…22件 請願・陳情等…5件 計 27件



## 注目!

### 議案第49号 平成30年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定について

平成30年度、歳入311億1,277万円 岁出281億8,771万円を賛成多数で認定。  
合併の総仕上げとして、新体育馆、戸倉上山田中学校改築事業、都市計画道路千曲線改良事業、新庁舎の建設等の主要事業が適正に進められた。  
高齢者福祉政策では「地域包括ケアシステム」の構築と高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、高齢者世代及び一人暮らし高齢者へ支援の充実が図られた。  
子育て支援施策の推進では「多子世帯に対する保育料の軽減」「三世代同居近居推進事業」「こども食堂」「産前産後ヘルパー派遣事業」「病児病後児保育事業」など50を超える経済的・精神的負担を軽減する施策や、育児と仕事の両立を図る施策などを実施したことにより、転出人口より転入人口が増加するなどの成果が見られた。

## 9月定例会 (9月10日～9月30日) 平成30年度千曲市一般会計歳入歳出決算を認定

9月定例会では、平成30年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定を含む22件の議案と、請願・陳情5件を審議しました。

## 議案審議結果一覧

採決結果：◎全会一致で可決・同意・認定 ○賛成多数で認定

議案番号	件名	結果
議案第43号	千曲市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について	◎
議案第44号	千曲市森林づくり基金条例制定について	◎
議案第45号	千曲市保育所条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第46号	千曲市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第47号	千曲市下水道条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第48号	千曲市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第49号	平成30年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定について	○
議案第50号	平成30年度千曲市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○
議案第51号	平成30年度千曲市同和対策住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議案第52号	平成30年度千曲市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○
議案第53号	平成30年度千曲市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○
議案第54号	平成30年度千曲市下水道事業会計利益の処分及び歳入歳出決算認定について	○
議案第55号	平成30年度千曲市水道事業会計利益の処分及び歳入歳出決算認定について	○
議案第56号	令和元年度千曲市一般会計補正予算（第3号）の議定について	○
議案第57号	令和元年度千曲市介護保険特別会計補正予算（第2号）の議定について	○
議案第58号	市道路線の認定について	○
議案第59号	市道路線の変更について	○
議案第60号	千曲市・坂城町等公平委員会委員の選任について	○
議案第61号	人権擁護委員候補者の推薦について	○
議案第62号	千曲市デジタル防災行政無線整備工事変更請負契約の締結について	○

採決が分かれた議案については、市議会のホームページをご覧ください。

# 質疑

Q

質疑・討論

議案第44号

## ○千曲市森林づくり基金条例制定について

宮入 高雄 議員

森林づくり県民税と森林環境譲与税が重複する部分がある。市民への森林政策全体会の周知について。

問

市報で制度概要をお知らせし、森林経営管理制度に基づく整備を進める際には地元説明会を開催し、詳細について説明をしていきたい。

答

森林管理へ向けた組織体制づくりについて。



### ○平成30年度千曲市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

反対

齋藤 正徳 議員

千曲市の平成30年度の一人当たりの国民健康保険料は、9万96円で前年度と比較して7114円増加した。今、国保財政への公費負担は、国と都道府県で4.6兆円、そのうち国が75%、都道府県が25%負担している。この公費負担を1兆円増やせば、国保料を協会けんぽ並みに引き下げることができる。全国市長会も「国庫負担割合の引き上げ」を国に要求している。平成30年度千曲市国保特別会計では、国保税収入未済額は前年度より減少50号国保特別会計歳入歳出決算認定に対する。



議案第50号

# 委員会報告

## ◆◆総務文教常任委員会◆◆

委員会開催日：9月20日  
議案3件と請願2件の審査と所管事項調査

○議案第43号 千曲市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について

問 1点目、常勤職員、非常勤職員はどのような基準で仕事を分けているのか。2点目、非常勤職員が正規職員の業務を行っているが、その場合は正規職員に任用替えを行うのか

答 組織の管理、運営に関する業務、財産の差し押さえ等許認可事務を常勤職員が行い、非常勤職員は事務補助という形で責任の度合い、仕事の量については常勤よりは少ない。2点目について、正規職員の任用替えということで例えば保育士にしても、計画的に実際増やしているということもあり、総合的に判断させていただき対処していきたい

### 【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定

○議案第49号 平成30年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定について

問 収入未済額が昨年より減ったが、どのような努力をしたか

答 差し押さえの強化、不納欠損等年々減らしている。低所得者については、生活保護に準じる方は生活保護と同等の扱いをしている。また、執行停止や分納の手続き等、配慮している

問 毎年、財政調整基金を取り崩している。財政の不安があるが、今後10年くらいの見通しは

答 財政推計については、総合計画の方で示しているが、今後5年間の財政推計を示していく。財政調整基金は現在38億円ほどある。大切な財源を慎重に使いたい

### 【討論】

反対 法定外の国保会計への繰り出しがなかったので、決算について反対する

### 【採決結果】

賛成多数で認定すべきものと決定

# 討論

討論とは、本会議や委員会で採決に入る前に議題となっている案件について、賛成または反対の意見である理由を述べ、自分の意見に賛成・同調することを他の議員に求める 것입니다。

議案第49号

## ○平成30年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定について

中村 了治 議員

賛成 袖山 廣雄 議員

賛成 和田 英幸 議員

私たちがこれまで本予算に反対してきた最大の理由である「新幹線新駅誘致運動」関連の予算が計上されなかつたこと、国民健康保険予算は6月に提案し3月議会では審査しないことから初めて一般会計予算に賛成した。

しかし、昨年6月の「国保税条例改正」の提案では、保険料を下げるために一般会計からの「法定外繰り出し」を私たちは主張してきたが、措置されなかつた。

市の「多子世帯に対する保育料の軽減」や「子育て応援アプリ」等々の子育て支援策については評価するが、私たちがずっと取ってきた態度表明との整合性を保つために、この「一般会計決算認定」には反対する。

決算内容では、千曲線の開通など、市の一体感の醸成と均ある発展に寄与する大型事業を完成させ、将来的な投資である屋代地区区画整理事業を推進し、また子育て世代包括支援センター事業の設置に着手するなど、子育て施策の充実を図る幅広い事業を執行した。市税全体では実質収支で黒字になり、その約半額を財政調整基金に積み立てるなど堅実な財政運営に務められたことは評価出来る。しかし経常収支比率は0・4%改善されたが財政硬直化が高く、以後とも歳出経費の見直しを行い自主財源の涵養の為にも、基幹事業を市長と職員一丸となって推進する事に期待し、決算認定に賛成する。

今後は予定されている公共施設再編計画の確実な実施と行政改革大綱の着実な推進、自主財源を増やす事業への投資、事業の選択と集中、並びに各種事業の構想や計画の迅速な立案に期待を込めて、平成30年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定に賛同する。

# 一般質問(個人)

15名が  
市政を問う!

個人質問

日程	掲載頁	氏名	通告事項
9月17日(火)	8	倉島 さやか (千曲政絆会)	1 教育行政について 2 移住定住の促進について 3 消防団について 4 参議院選挙の投票結果について
	8	北川原 晃 (千曲政絆会)	1 千曲市の将来を見据えて 2 市民の公共施設に対する評価について
	9	前田 きみ子 (日本共産党千曲市議団)	1 全世代型社会保障について 2 千曲市重要伝統的建造物群保存地区について 3 千曲市の競輪場外車券売り場について
	9	中村 了治 (日本共産党千曲市議団)	1 千曲市職員及び市内教職員の働き方改革について 2 高齢者の交通事故防止対策について 3 農業問題について
	10	斎藤 正徳 (日本共産党千曲市議団)	1 横町交差点・倉科踏切の交通渋滞解消について 2 有害鳥獣対策について 3 あんず生産の振興について 4 就学援助制度の外国語版案内は
9月18日(水)	10	林 愛一郎 (自由民主クラブ)	1 今こそ市民との協働による街づくり推進強化を 2 遊休農地の荒廃対策について
	11	和田 英幸 (自由民主クラブ)	1 屋代小学校旧本館の保存整備を急げ
	11	滝沢 清人 (公明党)	1 来月から10%に引き上げられる消費税、市民が納得の使途に 2 自然災害の頻発化・激甚化は明らか。防災・減災を社会の主流に
	12	大澤 洋子 (無会派)	1 対話による協働のまちづくりの推進 2 嘱託・臨時職員の会計年度任用職員制度 3 地球温暖化対策
	12	柳澤 真由美 (公明党)	1 「わかる授業」「楽しい授業」へ教育環境充実の加速化について 2 女性の視点からみる防災・減災対策について 3 30年度一般会計決算について
9月19日(木)	13	宮坂 重道 (千曲政絆会)	1 廃プラスチックの対策について 2 食品ロスについて
	13	袖山 廣雄 (千曲政絆会)	1 公共施設の使用料について 2 新庁舎について
	14	金井 文彦 (科野の会)	1 「市民ファーストであるか」についての幾つかの検証
	14	飯島 孝 (科野の会)	1 千曲川について 2 ホストタウンについて 3 いろいろな援助制度の案内について
	15	中村 真一 (科野の会)	1 「千曲市人口ビジョン」とその対策、実績は 2 五加地区の人口増加の認識は

## 福祉環境常任委員会

委員会開催日：9月 24 日  
議案9件の審査と所管事項調査

○議案第45号 千曲市保育所条例の一部を改正する条例制定について

問 条例を改正する理由は

答 保護者が就労中、休職中など保育を必要とする理由があるが、特別利用保育として保護者の要望に応え、受け入れを可能にするため条例改正をする

○議案第49号 平成30年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定について

問 温泉施設管理運営事業費が増えている理由は

答 温泉施設自体の配管が複雑になり、修繕がかさみ、機器保守点検委託料も様々であり、各施設の修繕が重なった

問 児童館は現在1年生から3年生まで受け入れているが高学年は

答 条例では6年生までとなっているが、実質受け入れているのは、更級、八幡、上山田の各児童館で他は3年生までとなっている。指導員、補助員が不足しているため募集をしている

【討論】

反対 一般会計から、国保会計への、国保税引き下げのための法定外繰り入れがないことから反対

賛成 子育て支援策として、ワンストップで相談できる体制の整備や負担軽減の施策などがあり賛成

【採決結果】

賛成多数で認定すべきものと決定

○議案第50号 千曲市国民健康保険歳入歳出決算認定について

【討論】

反対 収入未済額が8,740万円。消費税の値上げもあり、滞納もある。国保税値下げのため一般会計からの繰り出しがないため反対

賛成 安易に一般会計に依存することなく、健全な財政運営に向けて自助努力しているので賛成

【採決結果】

賛成多数で認定すべきものと決定

## 建設経済常任委員会

委員会開催日：9月 25 日  
議案9件と請願1件の審査と所管事項調査

○議案第49号 平成30年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定について  
(第6款 農林水産業費)

問 各所でワイナリーが計画されているが、将来的に過剰にならないか

答 地域の特色を出して産地間競争に勝つ等、生産者と一緒に研究している

問 松くい虫被害の現状と対策は

答 被害は増えている。空中散布をしていない中、県へ指針と道筋の要望を出している。松くい倒木等による停電については、県も危険性排除・災害の未然防止のため予算を出している  
(第7款 商工費)

問 協力隊員の現状、また募集は

答 現在隊員は2名。募集はしたが、応募者がいない  
(第8款 土木費)

問 屋代電鉄線跡地の草刈で毎年約100万円の支出が計上されている。早期に活用

の考え方

答 自転車道等構想はある、要望もある、早期に活用策を進める

【採決結果】

全会一致で認定すべきものと決定

○議案第56号 令和元年度一般会計補正予算(第3号)の議定について  
(第8款 土木費)

問 空家バンクの登録件数は

答 8件、運用の簡素化で増やしたい

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定

○請願第5号 千曲市の公共建物建設に市内産木材の活用を求める請願  
紹介議員、請願人の説明、所管課の意見聴取

【意見】

治山治水や有害鳥獣対策に有効である。積極的に使うべきだ等の意見

【採決結果】

全会一致で採択すべきものと決定

委員会報告



倉島 さやか

## 消防団員の確保について

**問 支給や制度設計について。**

**答 団員確保については研究している。現在は報酬のほかに団員一人当たり9000円の活動費を一括して分團に交付している。**

**問 定員と報酬の見直し、活動実態に応じた支給についての所見は。**

**答** 834名の定員に対し充足率が94・5%と高く、今のところ定員を見直す予定はない。平成29年度から出動手当を大幅に改善し、実際に出動した団員には手厚くなれるよう見直したところではあるが、今後も必要に応じ見直しを検討する。

**問 教育行政について、今後千曲市としてどのように基礎学力の向上に取り組むのか。**

**答** 各学校の課題を明確にし、授業改善の取り組みを進め、知・徳・体のバランスの取れた生きる力の育成と教職員の資質向上が必要と考えている。

**問 他市の公立小学校で結果を出している取り組みについてどう考えるか。**

**答** 新たな取り組み千曲市ワーケーション体験会の開催について参議院選挙の投票率の総括について

岐阜市梅林小学校4・5年生 学力調査結果		
	A(基礎)	B(応用)
27年度	98	98
28年度	111	108
29年度	116	119
2年間の伸び	+18	+21
	A(基礎)	B(応用)
算数	99	95
27年度	113	117
28年度	116	117
2年間の伸び	+17	+22
岐阜県教育委員会調査 県平均が100		

▲徹底した反復学習「陰山メソッド」朝15分の導入で学力向上

**答 今後も教育委員会として、学力向上に向けて他の市の中的な取り組みを参考に、学力向上推進委員会を中心の方策を追求していく。**

**問 移住定住の促進について移住定住者と市民を繋ぐ窓口を担える人材育成についてどう考えるか。**

**答 市は関係機関と連携して、移住後の相談対応、情報発信など移住定住者と地域の方々とを取り持つ架け橋役を担えるよう努める。**

**問 その他の質問事項。**

**○** 新たな取り組み千曲市ワーケーション体験会の開催について

**○** 参議院選挙の投票率の総括について

**問 市のフレイル予防促進について**

**答** フレイルとは「虚弱」という意味で高齢期に適切な運動、食事、社会参加を行えば、再び健康な状態を取り戻すことができる状態とされ、介護予防や健康寿命の延伸が期待されている。

**問 千葉県四季台団地の2地区の比較調査では、介護認定率に違いがあった。その原因は、地域のつながりであり、それはまさに「つながりが健康を作る」ということであった。市の取り組みは、養・運動・社会参加の三つとして保健事業に取り組んでいる。**

**問 稲荷山の重伝建について**

**答** 江戸時代から明治、大正、昭和、平成、令和へと6時代を通じた多様な建物が存在する貴重な地区で、地域住民は誇りを持って守り活動をしている。この地域では棚田とセットにして楽知会の方の案内でも、今年は700人の観光客が観光バスで訪れている。こうした団体のほか個人で重伝建を訪れている人も多く見られる。重伝建地区的マスター・プランは。



▲稻荷山重伝建「町屋敷の蔵」

**問 市の見通しは。**

**答** 市民の安心、安全のため必要な対応をしていきたい。

**問 競輪場外車券売り場について**

**答** 「千曲市歴史文化基本構想」の策定を現在進めているが、文化庁から「文化財保存活用計画」の移行を勧められている。いずれにしても、令和2年度の完成を見込んでいる。

**問 学校現場の業務の精査は。**

**答** 中教審答申で、登下校に関する業務、部活動、学校行事の準備・運営等3つの業務の「明確化・適正化」が示された。市としてこの答申を参考に校内業務の精査・縮減を進めている。

**問 スクールロイヤー配置の考え方**

**答** スクールロイヤー（学校弁護士）配置は事態の重大化前に解決を図るという点で有意義であるが、



▲耕作放棄農地では年々雑草が繁茂し続けている



## 公共施設使用料値上げ 市民は納得するか

**問 公共施設は市民の福祉を増進する目的をもって、その利用に供する」とある。本来、公共施設は市民の税金で建てられており、施設の使用料は公的な目的から民間施設と違い、低廉な料金体系であるべきである。**

**答** 「受益者負担」の考えの基、国が経費の将来の財源を確保するため、市民や利用者に負担を求めるしかし、市民の健康増進活動や地域の活性化など、公益的な利用意欲を削ぐことないよう再検討すべきである。

**問** 公共施設の使用料は合併以来改訂されていない。10月に消費税率が改定されることから、増税率も合わせて、利用者に負担していただく。

**答** 公共施設の使用料は合併以来改訂されていない。10月に消費税率が改定されることから、増税率も合わせて、利用者に負担していただく。

**問** 「住みよさランキング」について

**答** 市長は、市民満足度の高い「選ばれるまち千曲市」を実現す

る」と表明しているが、民間の調査による「全国住みよさランキング」で、千曲市は185位から402位と大きく順位を下げている。この指標をどう捉えているか。

**答** 「住みよさランキング」は一つの目安で、最近の千曲市市民満足度調査では、8割以上の市民からも市民からの様々な要望を実現するべく有効な施策を講じていく。



▲「住みよさランキング」上位の自治体は若い人口が増加する

**問 農業問題を質す**

**答** 中教審答申で、登下校に関する業務、部活動、学校行事の準備・運営等3つの業務の「明確化・適正化」が示された。市としてこの答申を参考に校内業務の精査・縮減を進めている。

**問 雜草駆除支援組織の創設を。**

**答** 土地所有者や耕作者に農地の適正管理を指導している。農地の保全管理は土地所有者の責務なので支援組織は今のところ考えていない。





大澤 洋子

## 市民ファシリテーター 養成講座を

個人質問



宮坂 重道

### 激増する廃プラスチック に就いて



▲この頃プラスチックは無かつた「網走刑務所」

**問** 環境問題にもなつて廃プラスチックは海ばかりか、千曲市民の生活中にも溢れている。利便性の高いプラスチックの使用を抑制することは至難の業であり、他人任せで、金さえ出せば跡始末は良しを決め込むことは、もはや許されない。今後の対応は。

**答** 輸出不可能になつた産廃の廃プラについて、一般廃棄物処理施設における処理について検討するよう、環境省より要請があつたが、市が構成者となつてある葛尾組合では対応しないとしている。

**問** 科学の進歩で合成されたプラスチックは、元の原料である石油に戻す乾燥装置も研究され、コンパクトで高性能な装置も開発されている。高い輸送コストをかけ、移送するのを改め、自治体単位で、乾燥による廃プラ対策を研究すべきではないか。

**答** 市の現状では家庭から排出されるプラスチックごみは、葛尾組合へ搬入され、可燃ごみは焼却、資源ごみは日本容器包装リサイクル協会を通じ、埋め立て処分や資源化を行なつており、地球温暖化

も問題であるが、費用対効果の面からも、現状維持で行く。

**■食品ロスについて**

**問** 「輸入してまで捨てる不思議な国日本」等と揶揄されても減らない原因の一つに、長期保存目的に開発された缶詰・瓶詰、高度な技術によるレトルトパック等、一律に賞味期限で括り、期限過ぎた物は廃棄ではロスは減らない。

**答** 日本の食品廃棄物は2800万トン、このうちの過半数は事業系である。

### 激増する廃プラスチック に就いて

**問** まちづくり基本条例、協働のまちづくり指針、協働事業提案制度、第一期協働のまちづくり行動計画と10年以上が経過。静岡県牧之原市は、市民の対話による課題解決の実績に高い評価がある。手法に市長の公約によるトップダウンド、市民ファシリテーターを養成し、対話スキルを高めてワークショップを重ね津波防災まちづくり計画などをつくつているが。

**答** 「ちくま未来コラボカフェ」では、コミュニケーション能力を高めるためのワークショップを開催。若手職員が「ファシリテーター役」となつて、「対話する・相手を知る」観点で実施した。市民と行政が対等な関係で、互いに主体性を持つ特性を發揮し合うことで課題解決へ繋がると考える。

**問** 市民活動支援のため市バス継続は。

**答** 本年10月中旬をもつて、すべての車両のリース期間満了に伴い廃止。運転手の確保ができない為であり、今後は運行業務の全てを民間バス事業者に委託運用する。

**問** 非常勤職員448人、正規職

員468人で非正規率は49%。非正規の8割は女性職員で、女性の貧困の構造的問題がある。勤務年数の制限廃止をすることで、働く意欲と誇りが保てる。保育士不足も解消するが、考えは。

**答** 非常勤職員で10年を超えている嘱託職員は8人。平等取り扱いの原則や人事のリフレッシュの観点から、5年経過した時点で公募。再び応募は認める方針。

**【その他の質問事項】**

○再生可能エネルギー推進

■平成21年の市民ファシリテーター育成の状況

時期	内容
5/24(日) 13時～18時	協働ファシリテーター認定コース(協働上級) ファシリテーターのスキルを学ぶ
7/24(金) 19時～21時	まちづくり協働推進リーダー認定コース 「協働の講演」
8/4(火) 19時～21時半	まちづくり協働推進リーダー認定コース 「生涯学習と協働としたまちづくり」
8/18(火) 19時～21時半	まちづくり協働推進リーダー認定コース 「市民ワークショップとは」 実践

11月～3月

- ・地区別「男女協働サロン」市内11地区で開催
- ・地区推進リーダーと地区運営メンバーが企画・運営、協働ファシリテーターはその補助とサロンの振興を行う。

・協働ファシリテーター認定コース 21名  
・協働推進リーダー認定コース 69名  
計 90名

▲牧之原市の市民ファシリテーション養成の状況

個人質問



大澤 真由美

## 小学校の学習環境の 整備は平等か

個人質問



袖山 廣雄

### 公共施設の使用料改定 について

**問** 公共施設は、住民の福祉を増進する目的の施設であり使用料は安く、また無料で使える施設と思ふが、今回の改定目的は、利用者の負担の公平性の確保、将来への財源基盤の確立となるが、使用者への負担義務を強いている。また女性の視点・参画からみる防災の充実について、女性の登用人物の考え方には、矛盾と整合性は。

**答** 公共施設は、市民の税金で整備・維持管理を行つており、利用者と利用しない人に不公平が生じないように、費用の一部を利用者には、矛盾はない。

**問** 大田原マレットゴルフ場の使  
用料値上げは、地域活性化等の為  
辺地債充当の施設であり、他施設  
と目的が違う。また蕎麦を提供す  
る「やまぶき会」や農業体験受け  
入れ事業等に水をさす事になり、  
妥当ではない。

**答** 地域の環境改善のため辺地債

を活用した社会体育施設として、市のスポーツ振興懇話会に諮問し、新料金設定は妥当と答申を受けた。管理办法も含めて施設の実情に応じ、今後検討、対応していく。  
▶新庁舎を市民のための庁舎にするには、挨拶と使い勝手が大事になるが。

**答** 市長として、挨拶は心をつねぐ大切な言葉として、実践していく。

**問** 新庁舎を市民のための庁舎にするには、挨拶と使い勝手が大事になるが。

**答** 職員共々挨拶を徹底して行く。府舎については、今後駐車場への看板や歩行者の安全確保、また高齢者等のためにアンケートなど実施し、改善していく。

▲市の魅力UPに寄与している大田原マレットゴルフ場 蕎麦あります

**問** 低学年の教室にプロジェクトターゲットが設置されていないため、先生方が準備した「わかりやすい・楽しい授業」の効果的な教材が使えない。子どもの教育環境の整備は平等か。

**答** 大型掲示装置の設置が計画通り進んでいなかつた。今年度、低学年へプロジェクトターゲット設置を完了させる。

**問** 5年前に4年生までプロジェクトターゲットは設置され、低学年は29年度から順次設置予定だった。なぜ計画的設置はされなかつたか。

**答** 限られた予算の中でパソコンリースを中心につめた経緯がある。

**問** 現場の声をどう吸い上げ、現場に反映させているか。

**答** 学校長から直接聞く、委員会や学校訪問等で要望を伺う。今後も学習活動を支える機器等、環境整備に努める。

**問** 現場の声を教育委員会に挙げたが改善されてこなかつた。教育現場の声をどう吸い上げ、現場に反映させているか。

**答** 限られた予算の中でパソコンリースを中心につめた経緯がある。

**問** 女性の視点・参画からみる防災の充実について、女性の登用人物の考え方には、「液体ミルク」を加へたが改善されてこなかつた。教育現場の声をどう吸い上げ、現場に反映させているか。

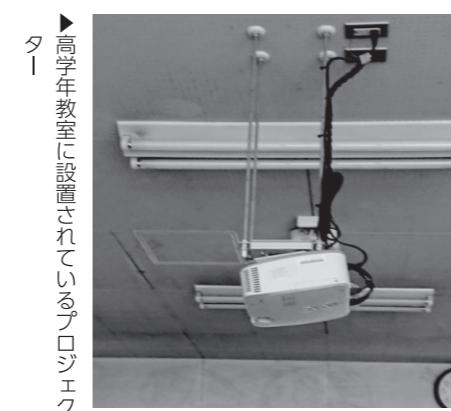
**答** 学校長から直接聞く、委員会や学校訪問等で要望を伺う。今後も学習活動を支える機器等、環境整備に努める。

**問** 30年度一般会計決算審査意見の事務処理軽減化の一層の推進のため「白老町ポケット統計」版を参考にして千曲市版を作る事を提案する。

**答** 千曲市にも必要であると考える。

**問** 30年度一般会計決算審査意見の事務処理軽減化の一層の推進のため「白老町ポケット統計」版を参考にして千曲市版を作る事を提案する。

**答** 女性の意見を多く取り入れ配置を検討する。液体ミルクの備蓄は今年度中に導入したい。女性職員、子育て世代、事業者等意見を参考に充実を図る。



問 五加地域の人口増加(2040年には地域人口が約840人、小学生が約70人増)の推計があるが認識は。

答 五加地域は「しなの鉄道千曲駅」の開業、「大型商業施設」の開店、そして公園事業や「千曲線の整備」などの事業を推進し、同時に立地適正化計画で居住誘導区画にしたことにより、利便性が増し、住環境が向上したことが人口増に寄与した。今後も総合計画や、総合戦略の各施策を着実に実行し、地域住民と共に住みやすい環境づくりに取り組んでいきたい。

問 定員オーバーの中で、五加保育園の入園が難しく、更に未満児の入園枠が非常に少ないが。  
答 「幼保の無償化」により更に需要が拡大すると思うが、五加保育園を希望する3歳以上の子供については概ね受け入れができる。また3歳未満児の利用率は年々増加しているが、全国的傾向で、千曲市では他の保育園への利用調整をしながら待機児童が発生しないよう努めている。



▲五加保育園運動会 (R元.9.28 ことぶきアリーナ千曲)



中村 真一

## 五加人口増推計と 五加保育園の施設拡大

問 園舎は満杯で、園庭も手狭な為、運動会も「ことぶきアリーナ千曲」で実施される現状から、「五加保育園の施設拡大」計画の早期推進を図るべきと考えるが。

答 今年は園庭での運動会開催が難しくなってきた為、「ことぶきアリーナ千曲」で開催する。また子育て支援は市の大きな課題であり、しっかりと取り組む。五加保育園は前々から定員がいっぱいであることは承知しており、担当部局が調査中だ。直ぐとはいえないが、増築なりの計画を進めたい。

問 五加地域の人口増加(2040年には地域人口が約840人、小学生が約70人増)の推計があるが認識は。

答 五加地域は「しなの鉄道千曲駅」の開業、「大型商業施設」の開店、そして公園事業や「千曲線の整備」などの事業を推進し、同時に立地適正化計画で居住誘導区画にしたことにより、利便性が増し、住環境が向上したことが人口増に寄与した。今後も総合計画や、総合戦略の各施策を着実に実行し、地域住民と共に住みやすい環境づくりに取り組んでいきた。

問 定員オーバーの中で、五加保育園の入園が難しく、更に未満児の入園枠が非常に少ないが。  
答 「幼保の無償化」により更に需要が拡大すると思うが、五加保育園を希望する3歳以上の子供については概ね受け入れができる。また3歳未満児の利用率は年々増加しているが、全国的傾向で、千曲市では他の保育園への利用調整をしながら待機児童が発生しないよう努めている。

問 これまでの行政改革は、補助金の見直しや公共施設統廃合などの市民に譲歩を求めたものが大半に思うが、市民の視点に立てば、職員数や人件費削減など、行政自体の「身を切る改革」をもうと進めるべきと考えるが。

答 合併当時から職員数は12%減少し、特別職の報酬や管理職手当を見直すなど、行政自らの「改革」は進めている。今後は市民の利便性を考慮しながら、新庁舎での窓口業務などの事務の改善、組織体制の見直しに努めていく。

問 開館して数年の「白鳥園」も、温泉施設の総量縮減の対象とされ

問 以前より職員の挨拶や、市民への対応の悪さが指摘されている。新庁舎開庁を機に「おもてなし宣言実践プロジェクト」を強力に推し進め、信頼される行政の第一歩にすべきと思うが。

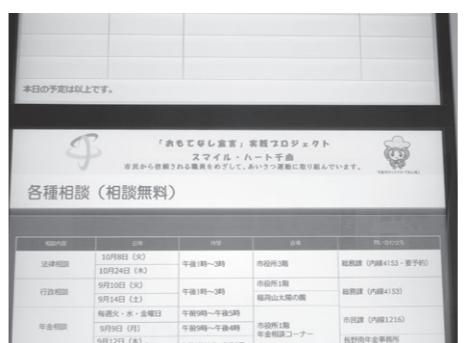
答 「市の職員は変わった」と市民から思つてもらえるように、部長会議などで十分検討し、挨拶はもとより市民への接遇向上に取り組む。

問 これまでの行政改革は、補助金の見直しや公共施設統廃合などの市民に譲歩を求めたものが大半に思うが、市民の視点に立てば、職員数や人件費削減など、行政自体の「身を切る改革」をもうと進めるべきと考えるが。

問 第五次行革大綱は従来の行政主導でなく、市民の代表から組織される行政改革推進委員会をはじめ、各方面の市民団体等多くの市民の皆様からご意見、ご理解をいただきながら策定していく。その中で市の計画や施策との整合について調整し、効率的な行政運営と持続可能な財政運営で市民満足度の更なる向上を目指す。

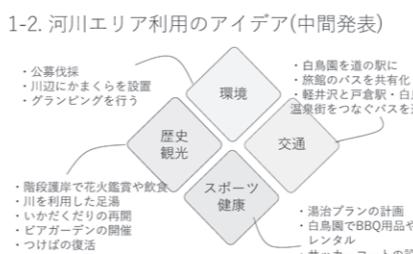
問 3月議会の答弁では「かわまちづくり支援制度事業」としてどのような事が実現可能か技術的な整合を図っていくのか。

答 第五次行革大綱は従来の行政主導でなく、市民の代表から組織される行政改革推進委員会をはじめ、各方面の市民団体等多くの市民の皆様からご意見、ご理解をいただきながら策定していく。その中で市の計画や施策との整合について調整し、効率的な行政運営と持続可能な財政運営で市民満足度の更なる向上を目指す。



▲「信頼される行政」は「明るい挨拶」と「おもてなしのココロ」から

問 東京大学の学生による「千曲川河川エリアの活用」をテーマにした調査・研究の結果、河川エリアを利用した様々なアイデアの発表が本年2月にあったが、今後の活用計画は。



▲千曲川の交流人口を増やす手立て

問 3月議会の答弁では「かわまちづくり支援制度事業」としてどのような事が実現可能か技術的な整合を図っていくのか。

答 千曲川河川事務所とのかわまちづくりの協議では、概ね河川占用については可能との事、しかし堤防道路の取り扱いや整備の手法など一部課題もある事から、引き続き技術的協議や情報交換を行なっている。白鳥園跡地の整備はこの制度の対象外で、「かわまちづくり支援制度事業」は今後策定する総合運動公園構想の河川エリアの活用における手法の一つとして導入を検討。引き続き調査を行うとともに、国土交通省や県など関係機関と協議、情報交換をして行く。

問 「ホストタウン」の対応をどのようにしていくか。

答 すでにさまざまな文化交流事業を開催しており、引き続き実施して行く。今後についても息の長い交流に発展させて行くと考えている。



飯島 孝

## 千曲川の活性化の為に

問 3月議会の答弁では「かわまちづくり支援制度事業」としてどのような事が実現可能か技術的な整合を図っていくのか。

答 14のアイデアをご提案いただいたが整備費や維持管理費の財政的負担が大きく、費用対効果のバランスがとれていないものもあると思われる。しかし、いただいたいアイデアは「かわまちづくり計画」を作成する際には活用したいと考えている。

# 委員会視察調査報告

先进地の取り組みを視察・調査しました

2019年7月11日、前山安彦  
千曲市歯科医師団長、柳澤孝彦副  
団長、山岸光男更級歯科医師会長  
の3者を迎えて懇談。  
「歯科保健の現状と課題」において  
全身の健康と歯科疾患の関係  
について歯科医師会から説明を受け  
る。

4 3 認知症と歯科疾患  
フレイルと歯科疾患  
2 1 全身の健康と歯科疾患の関係  
総医療費が歯科治療で減額で  
きる

## 市民(各種団体等)との懇談会

市民(各種団体)と議会が懇談することにより、市民の声を議会活動に活かすことや、問題や課題について確認することを目的に開催しています。今回は、前号以降に開催した懇談会を紹介します。

懇談を希望される市民(各種団体等)は、議会事務局までご連絡ください。

### 福祉環境常任委員会・千曲市歯科医師団



歯科と健康について、大事なことは「親御さんもあきらめないこと」と「歯科医もあきらめないこと」であり、健診に行くことが大事で、そのために中高生の「歯の検診日」が必要であるとの話があった。

6月27日から28日、議員定数と報酬・議会改革・タブレットの活用について視察調査を行った。

#### 議会運営委員会

平成26年12月に議員定数を22人から18人に減員し、同時に議員報酬が13・6%増額、政務活動費が廃止された経緯とその後の運営等を調査。

#### 可児市(岐阜県)

人口10万人、議員定数22人。議会基本条例を制定し議会改革を進めている。その効果と課題について調査。

#### 美濃加茂市(岐阜県)

平成30年3月定例会から議会にタブレットを本格導入。導入の経緯と効果及び課題について調査。今後の議会運営に活かしていく。



▲可児市役所前にて



▲塩尻市での視察の様子



## 委員会行政視察・視察調査報告

### 企業等誘致推進特別委員会

先进地の取り組みを視察・調査しました

7月2日～4日、先進地の行政視察を実施した。

三重県伊賀市は、松尾芭蕉翁の生誕の地で旧更埴市と縁がある市であるが、忍者の里等の観光資源を国内外の観光客に向け地元から発信し、地域主導型で着地型観光に導き、企業や地域の活性化を進めている伊賀ふらり博覧会事業の取組みを学んだ。また、公共公益施設のハイトイピア伊賀を視察した。

滋賀県守山市では、琵琶湖一周サイクリングの発着地として自転車を活用した街づくり事業や国・県との繋がりを強化し、お金が落ちる道の駅設置の取組み、市長のトップセールスなどを学んだ。



▲守山市での視察の様子



▲亀岡総合庁舎での視察の様子

### 建設経済常任委員会

令和元年7月29日から31日の日程で、企業誘致の取組みに関する視察調査を行った。

#### 北海道石狩郡当別町

恵まれた立地条件、少ない災害リスクや安定した水資源を活かした企業誘致の展開と優遇制度の充実を図り、企業サポートをしていることなどを調査。

#### 北海道白老郡白老町

経済産業省の「企業立地に頑張る市町村事例集」に取り上げられるなど、町を挙げた企業誘致の取組みと廃校跡地を活用した企業誘致について調査。



▲白老町での視察の様子



▲当別町議会の議場にて



# 議会日誌

6月定例会終了後から9月定例会までの議会活動の紹介です。

## 6月

27日 議会運営委員会視察調査(～28日)

## 7月

2日 千曲衛生施設組合議会臨時会  
建設経済常任委員会行政視察(～4日)  
9日 議会運営委員会  
議会広報特別委員会  
新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会総会  
10日 千曲坂城消防組合議会臨時会  
六ヶ郷用水組合議会臨時会  
11日 福祉環境常任委員会  
12日 長野広域連合議会運営委員会  
16日 議会広報特別委員会  
17日 国道403号(中野・千曲間)整備促進期成同盟会総会  
企業等誘致推進特別委員会  
18日 総務文教常任委員会  
葛尾組合議会臨時会  
19日 長野広域連合議会臨時会・視察  
22日 新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会要望活動  
23日 うわじま牛鬼まつり(～25日)  
25日 第162回長野県市議会議長会総会  
27日 日本共産党千曲市議団視察研修(～29日)  
29日 企業等誘致推進特別委員会視察調査(～31日)

## 8月

8日 長野県市議会議長会役員会・県知事要望・  
県議会議長陳情  
19日 千曲政経会視察研修(～20日)  
20日 森林・林業・林産業活性化促進議員連盟長  
野県連絡会議総会  
一志会・自由民主クラブ視察研修(～22日)  
22日 新潟県村上市新政村上会行政視察来市  
27日 公明党視察研修(～28日)  
科野の会視察研修(～29日)

## 9月

3日 議会運営委員会  
議会広報特別委員会  
6日 企業等誘致推進特別委員会  
10日 議会全員協議会  
令和元年第3回(9月)議会定例会開会  
17日 一般質問(個人)  
18日 一般質問(個人)  
19日 一般質問(個人)・議案審議  
20日 総務文教常任委員会  
24日 福祉環境常任委員会  
25日 建設経済常任委員会  
30日 議会運営委員会  
令和元年第3回(9月)議会定例会閉会



# 12月定例会予定

## 【12月】

3日	(火)	本会議	開会
9日	(月)	本会議	一般質問(個人)
10日	(火)	本会議	一般質問(個人)
11日	(水)	本会議	一般質問(個人) 議案審議
12日	(木)	委員会	総務文教常任委員会
13日	(金)	委員会	福祉環境常任委員会
16日	(月)	委員会	建設経済常任委員会
19日	(木)	本会議	委員長報告・採決 閉会

※都合により、日程が変更される場合があります。

## 議会を傍聴してみませんか

議会活動を知る方法の一つに**傍聴**があります。議会だよりでは伝えることできない議会や議員の活動を知ることができます。  
新しい議場へ是非お出掛けください。



## 今月号の表紙は……

### 新しい議場で開会を待つ様子

9月から新築間もない新庁舎5階の議場で議会を開会しました。

会期中は、新しい議場を見学に訪れた市民の皆さんも傍聴していただき、新鮮な雰囲気の中で活発な議論が展開されました。

新議場では、賛成・反対の採決方式が、議員の起立で行う方法から、押ボタンに変わって、賛否の結果が議員名までモニターで一覧表示されるようになり、これまで以上に議員の意思表示が明確になりました。

総数 21人	賛成 18人	反対 3人	棄権 0人
林愛一郎	宮入高雄	和田英幸	宮坂重道
飯島孝	中村眞一	倉島さやか	前田きみ子
金井文彦	北川原晃	大澤洋子	袖山廣雄
		柳澤眞由美	中村了治
		渕沢清人	小山嘉一
		齋藤正徳	
		採決終了	

# 市民の声

## あんずの里を振り返る



島田 広之さん  
(森)

あんずの花が咲いて実がなる。その繰り返しの歴史の中にどれほどの物語や想いが詰まっているのか、その全ては知り得ません。私はもっぱら、あんずの花が毎年綺麗に咲くことを期待しています。そして綺麗な花の景色を絵に残します。しかし近年では温暖化なのか、花もその色が昔とは違つて見える。そして著しく目立つのは、あんずの木自体の減少であります。千曲市の大きな観光を支えてきた「日本一のあんずの里」は今や担い手の高齢化やその他で危機的状況にあり。今こそ行政の「あんずの里」維持対策が急務であります。

当時の戸倉町に移り住んで20年目になります。千曲市は杏の里、娘捨の棚田、温泉等全国各地から観光客を誘致できる観光資源を抱えています。仕事柄、全国各地の観光地、温泉地を巡りましたが戸倉上山田温泉は50本以上の源泉を保有し約30軒の宿泊施設や各種飲食店が営業し、豊富な湯量で一年中浴せる恵まれた環境であります。アルカリ性単純硫黄泉の良質な泉質は全国にも傑出したもので、この資源は千曲川の景観と共に千曲市を観光地として更に発展させる財産です。開湯百数十年の歴史を誇るこの天然財産を生かした議会運営、市政に期待しています。

「議会・市政に關すること」をテーマに寄稿いただきました。

## 名湯 戸倉上山田温泉



利根川昭彦さん  
(新戸倉)

## 議会だよりについてのご意見をお寄せください

『みんなの議会』のさらなる充実をめざし、広く皆さまの意見を募集します！  
お気軽にご意見をお寄せください。



### 記入事項

①住所 ②氏名 ③議会だよりへのご意見

### 提出方法

上記事項を記入し、ハガキ、メール、ファックスによりお送りください。

### 宛先

〒387-8511 千曲市杭瀬下二丁目1番地

千曲市議会 議会広報特別委員会

E-mail : gikai@city.chikuma.lg.jp

FAX : 026-272-0765

## 編集後記

「立派な新庁舎ができたね」あちらこちらから声が聞こえています。新たな千曲市のシンボルとなりました。

最上階の5階には議会棟と開放された眺望ロビーがあり、そこからの眺めはいつも見ている千曲市の眺めとは少し違います。ぜひ皆様も足をお運びください。

9月議会から新議場となりました。傍聴者も多かったように思います。人と人、心と心を繋ぐ愛着のある庁舎になるよう私たち議員も尽力してまいります。  
(倉島 さやか)

## 議会広報特別委員

委員長	滝沢清人
副委員長	正徳斎藤
委員	新市小玉
	愛一郎林
	大澤洋子
	倉島さやか
	北川原晃
	金井文彦

## 千曲市議会だより

発行／長野県千曲市議会 TEL 026 (272) 0199 (直通) FAX 026 (272) 0765  
ホームページ <http://www.city.chikuma.lg.jp> E-mail : gikai@city.chikuma.lg.jp  
発行責任者／千曲市議会議長 萩原光太郎 編集／議会広報特別委員会  
印刷／寺沢印刷 (千曲市大字八幡 2069番地7)

●千曲市議会だよりは、地球環境に配慮して再生紙(古紙配合率100%の再生紙)を使用しています。